

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	耐用年数設定小委員会	主 査 名：本橋健司 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (耐久保全運営委員会)	委員長名：本橋健司 主 査 名：鹿毛忠継
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>1) 建築物の耐久設計に関する一連の ISO 規格 (ISO15686 シリーズ) が発効してきている状況下で、日本での規格化を支援。</p> <p>2) ISO 規格に基づいてファクターメソッドによる耐久設計ができる技術的基盤の醸成。</p> <p>3) ファクターメソッドによる耐用年数設定に必要なリファレンス・サービスライフのデータ収集と分析。</p> <p>2011 年度：ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフに関する技術データの収集のための調査および ISO15686 シリーズを中心とした国際規格の動向に関する情報収集</p> <p>2012 年度：ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフに関する技術データの収集のための調査の継続および ISO15686 シリーズを中心とした国際規格の動向に関する情報収集の継続</p> <p>2013 年度：ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフに関する技術データの収集のための調査の継続および ISO15686 シリーズを中心とした国際規格の動向に関する情報収集の継続</p> <p>ファクターメソッドを中心とした耐久設計に関する技術指針の骨子検討</p> <p>2014 年度：ファクターメソッドを中心とした耐久設計に関する技術指針の作成および講習会の実施</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 本橋健司 (芝浦工大)、井上照郷 (日本建築仕上材工業会)、鹿毛忠継 (建築研究所)、兼松学 (東京理科大)、楡木堯 (ベターリビング)、古賀純子 (建築研究所)、大澤悟 (竹中工務店)、今本啓一 (東京理科大)、興石直幸 (早稲田大)、濱崎仁 (建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2013 年度予算	133,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	

対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	ファクターメソッドの各係数とリファレンス・サービスライフに関する技術データの収集のための調査の継続および ISO15686 シリーズを中心とした国際規格の動向に関する情報収集の継続が実施された。2013 年度は、耐久設計に関する技術指針の骨子検討を行い、第一次目次案を定め、本文の執筆を開始した。当初の活動計画からの大きな遅れはない。
委員会活動の問題点・課題	特になし

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。